

# 会報 NO.22

令和6年1月5日発行  
特定非営利活動法人なごや  
歴史まちづくりの会事務局  
名古屋市東区槿木町3-58  
[contact@758rekimachi.net](mailto:contact@758rekimachi.net)

## 「まち歩き Season 1 その21」

今年から新たに始めたNPO 歴まちの会まち歩きでは、9月にSeason 1その1に続き、十一月にその2として覚王山周辺の歴史的界隈を中心にまち歩きを行いましたのでご報告させていただきます。まずは、地下鉄覚王山駅をスタートし楠本町界隈↓城山町界隈↓山門町界隈↓振甫町界隈↓上野・下方町界隈↓地下鉄砂田町駅といったルートでその界隈の歴史を明治・大正・昭和の戦前・戦後の地図を比較しながら、また、標高デジタル地図で地形を理解しつつ当時の写真等を参考にして現在の建物やまちなみ景観がどう形成されたかなどを参加者同士話しながらの楽しいまち歩きができました。当初、実行委員間で「NPOらしいまち歩き企画にしたいね」と話し合っって開始しましたが中々うまくいかない所もありましたが反省点は宿題として二〇二四年のまち歩きに生かしていきたいと思っています。二〇二四年は春にSeason 2、秋には

Season 3として各二回企画して行く予定でいます。ご興味のある方は是非お気軽にご参加のほどよろしくお願いたします。



昭和塾堂を背景に



水の歴史資料館前にて



(本多義忠)

## なごや歴まち連続セミナーVol.3

### 「天野武弘氏講演会」

十月二十八日(土)におこなわれた天野武弘氏講演会は会場変更にて名古屋まちづくり公社十三階ミーティングルームにて行われた。参加者は歴まちの会会員九名、名古屋まちづくり公社二名、一般三名、合計十四名であった。会場も人数に適した広さで講演も聞きやすく、なごみのある講演会となつたことは幸いでした。講演内容が「服部長七の人造石遺産」と云う一般にはなじみの薄い演題であったためか、参加者が少数であったことは今後の大きな課題を残した。



第一応接(特別室)にて

だが天野武弘という研究者が人造石土木遺産を深く調査研究を進めていることは地味であるが希少かつ貴重な事であり、少しでも一般に知らしめて行く価値があることの気づきは意義があったかと思われる。港湾の防波堤、護岸擁壁、河川の閘門、樋門な

どの土木遺産は我々の生活周辺から離れており、目立ちにくい故に保存から見逃されておられ、貴重な遺産が消えてしまう懸念が高い。我々の歴史保存活動に於いても視野を広くもって活動に臨むようお願いしたい。

(鈴木祥司)

## 『事務局だより』 会員の皆様へ

「来年度事業の企画を募集します」

令和五年度はコロナの影響も少なくなり、まち歩きや講演会などを実施することができました。来年度も歴史まちづくりに役立てる活動を進めていきたいと思っております。そこで、会員の皆様からこんなことがしたい、あんなことをしてはどうかなど、企画のアイデアを募集します。企画案をお持ちの方はぜひ事務局へお知らせください。今後とも会員多くの方に参加してもらえればと考えていますのでよろしくお願いたします。

## メール宛先

[contact@758rekimachi.net](mailto:contact@758rekimachi.net)



(事務局 松井)